

令和 4年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		市民の提案事業		担当課 秘書課
総合計画	政策	地域自治		計画期間 平成 5年度～
	施策	活気ある地域活動の推進		種別 任意的事務
	基本事業（取組）	広聴・情報公開の充実		市民協働
予算科目コード		01-020101-25 単独	根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
市民の市政への参加促進を目的として、まちづくりに対するアイデアや各種の提案、要望、意見等を行政に反映させるために開始した。	市民からも行政に対する意見・提案を広く求め、市民のニーズを把握するとともに、市政への参加意識を高める。 意見・提案に対しては、担当課が内容を調査・検討等を経て回答する。 意見・提案の聴取手段は、「私の提案」の封書、市の7施設に設置した「投書箱」、市ホームページの「ご意見・ご提案」入力フォームなどによる。 市からの回答は、原則1か月以内に提案者に対して行う。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市民に対し、市政に対する意見・提案を広く求め把握するとともに、市政への参加を促す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
行政に意見や提案を伝える場や機会が十分にあることを市民が把握できるようにする。 市の施策や計画等について、市民からの意見を取り入れるなど、内容を知る（情報公開）機会を多くする。	

事業の課題認識、改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度 of 取組（評価、課題への対応）
令和2、3年度はコロナウイルス感染症に関する意見・要望が増加した。匿名性を利用した一方的な意見も増えている。メールアドレス・職業・性別の必須項目で「回答希望」を選択できるため、送信者が市民であるか否かも分からないことは長年の課題となっていた。これらを解消するため、ホームページの投稿画面を「回答希望」の場合は、氏名・住所を必須項目に変更、匿名の場合は、参考意見として取り扱う「回答不要」フォームに変更した。	「私の提案」事業の課題整理と今後の方策を検討した。 「私の提案」という事業名称と実情の内容が一致していないため、令和5年度末の守谷市公式HPリニューアル時に名称を「私の提案」から「（仮）ご意見・お問合せ」への変更を予定している。 また、受付後の事務処理方法や市政へのフィードバック方法も同時期に変更する。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
提案・意見の件数（件）	278.00	151.00	225.00	278.00	241.00	323.00	160.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☐ 横ばい ☒ 低下	R1年～R4年の「私の提案」件数は、新型コロナウイルス関係の問合せ、苦情、要望等の投稿が増加したことによります。本来は、目標値160件程度が通常件数であることから上振れを起こしている状態で成果は低下しています。今後は目標値160件での推移することが考えられます。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	「私の提案」（市へのご意見・要望）には、所管課への「問合せ」も含まれるため、HPの投稿画面を変更することにより、最初から所管課へ問合せが届くシステムに改善することにより、事務の効率化を図る。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	132	132	133	223	223
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	132	132	133	223	223
正職員人工数（時間数）		298.00	415.00	492.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,206	1,606	1,897	0	0
トータルコスト		1,338	1,738	2,030	223	223

事業の基本情報				
事務事業名		議会広報事業	担当課	議会事務局
総合計画	政策	地域自治	計画期間	昭和51年度～
	施策	活気ある地域活動の推進	種別	任意的事務
	基本事業(取組)	広聴・情報公開の充実	市民協働	その他
予算科目コード	01-010101-08 単独		根拠法令・条例等	

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
議会における議案の審議状況や一般質問の内容を市民に周知することを目的に昭和51年から発行している。	1 需用費 1,255千円 議会だより印刷製本費 14.64円×22,000部×1.10×1回＝354,288円 12.40円×22,000部×1.10×3回＝900,240円 ※平成27年度から紙面構成・内容等のリニューアルを行い、分かりやすく見やすい広報紙を作成している。 2 委託料 1,780千円 議会映像配信 134,800円×12か月×1.10＝1,779,360円
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
市議会に対する要望等も多様化しており、開かれた議会が求められる中、定例会議会及び臨時議会の内容を議会広報紙に掲載し発行している。併せて議会録画映像をインターネット上に配信することで、市議会の運営・活動状況を広く市民に情報提供し、市議会への理解と関心を高めてもらう。	
（参考）基本事業の目指す姿	
施策を総合的に推進する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
☐ 増加 ☐ 維持 ☐ 削減	

R03年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R04年度の振り返り）	
R03年度の評価（課題）	R04年度の実績（評価、課題への対応）
議会だより「こじゅけい」を年に4回発行するとともに、本会議の映像を市議会ホームページから閲覧できるようにすることにより、市議会の運営等の活動状況を広く市民に情報の提供をした。	議会だより「こじゅけい」を年に4回発行するとともに、本会議の映像を市議会ホームページで配信するほか、本会議終了後に委員長からの報告をYouTubeで配信し、市議会の運営等の活動状況を広く市民に情報の提供をした。

評価（指標の推移、今後の方向性）							
指標名	基準値（R02）	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	目標値（R08）
発行部数（部）	21,300.00	21,000.00	21,300.00	21,300.00	21,300.00	22,000.00	22,000.00
映像配信アクセス件数（件）	3,496.00	3,470.00	2,493.00	3,496.00	6,960.00	2,624.00	3,000.00
成果の動向（→その理由）							
☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下	新型コロナウイルス感染症拡大により、視察研修や会議等の実施が影響を受けている中で、議会だよりの紙面構成や記事の内容を掘り下げたり、新たな記事欄を開始するなどして、市議会の運営・活動状況の情報提供の場として令和3年度に成果をあげていたが、令和4年度から映像配信アクセス数が減少しているのは業者における集計方法の変更に起因するものであり、判断できないため横ばいと評価する。						
今後の事業の方向性（→その理由）							
☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ 維持	☒ 改善・効率化 ☐ 統合 ☐ 廃止・終了	市議会の運営・活動状況の情報提供の場として、記事の関連する写真を多く掲載したり、新たなコーナーを開始するなどして市民に興味を持ってもらえるような紙面作りを行う。 また、映像配信アクセス件数を増やすため、議会だよりやSNSでの周知を行う。					

コストの推移						
項目		R02年度決算	R03年度決算	R04年度決算	R05年度予算	R06年度見込
事業費	計	2,946	2,776	2,870	3,277	3,277
	国・県支出金	0	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	2,946	2,776	2,870	3,277	3,277
正職員人工数（時間数）		413.00	667.00	224.00	0.00	0.00
正職員人件費		1,672	2,581	864	0	0
トータルコスト		4,618	5,357	3,734	3,277	3,277